

公認心理師科目 対応番号	開講年度	科目名	担当教員	副題	内容
①	2004	心理学特殊研究3	近藤保彦	男と女の心理生物学	広義の生殖行動(性行動、性指向性、攻撃、母性行動など)について、最新の研究論文を読み、その生物学的基礎について知識を得る。
①	2001・2002・2003	心理学特殊研究4	織田尚生	精神医学特論	精神医学を、臨床心理学との関連のもとに捉えなおす。
①	2004・2005	心理学特殊研究4	織田尚生	精神医学特論	精神医学を、臨床心理学との関連のもとに捉えなおす。
①	2006	心理学特殊研究4 (精神医学特論1)	織田尚生	精神医学特論	精神医学を、臨床心理学との関連のもとに捉えなおす。
①	2007	心理学特殊研究4 (精神医学特論1)	織田尚生	無し	精神医学を、臨床心理学との関連のもとに捉えなおす。
①	2008	心理学特殊研究4 (精神医学特論1)	小川恵	心理臨床の生物心理社会的モデル	
①	2009	精神医学特論1	滝川一廣	無し	精神医学への理解を身につけることを目的とする。精神医学の知識を授業するよりも、精神医学とはどういうものかという理解を深めることに主眼をおきたい。心理臨床家にも必要な自薦的な知識にふれていく。
①	2010	精神医学特論1	滝川一廣	精神医学とはどういうものか	精神医学への理解を身につけることを目的とする。精神医学の知識を授業するよりも、精神医学とはどういうものかという理解を深めることに主眼をおきたい。心理臨床家にも必要な自薦的な知識にふれていく。
①	2011・2013・2015・2017	精神医学特論1	滝川一廣	精神医学の基礎を学ぶ	精神医学への理解を身につけることを目的とする。精神医学の知識を授業するよりも、精神医学とはどういうものかという理解を深めることに主眼をおきたい。心理臨床家にも必要な自薦的な知識にふれていく。
①	2011・2013・2015・2017	精神医学特論2	滝川一廣	精神医学各論	1を踏まえて各論に入る。
①②③④⑤のいずれか一科目に読み替え	2009・2010	臨床心理関連行政論	伊藤良子	臨床心理の社会的責務について考える	福祉・教育・医療・司法・産業・私設相談等、多様な領域における臨床心理士の専門性を探求するため、関連する諸機関を分担して訪れるなどして、各機関の機能・法的根拠等について体験的に学ぶ。
①②③④⑤のいずれか一科目に読み替え	2011・2012・2013	臨床心理関連行政論	伊藤良子	臨床心理士としての専門性を深める	福祉・教育・医療・司法・産業・私設相談等、多様な領域における臨床心理士の専門性を探求するため、関連する諸機関を分担して訪れるなどして、各機関の機能・法的根拠等について体験的に学ぶ。
①②③④⑤のいずれか一科目に読み替え	2014・2015	臨床心理関連行政論	伊藤良子	無し	福祉・教育・医療・司法・産業・私設相談等、多様な領域における臨床心理士の専門性を探求するため、関連する諸機関を分担して訪れるなどして、各機関の機能・法的根拠等について体験的に学ぶ。
①②③④⑤のいずれか一科目に読み替え	2016・2017	臨床心理関連行政論	田中千穂子	無し	福祉・教育・医療・司法・産業・私設相談等、多様な領域における臨床心理士の専門性を探求するため、関連する諸機関を分担して訪れるなどして、各機関の機能・法的根拠等について体験的に学ぶ。
②	2001・2002	心理学特殊研究1	青木紀久代	乳幼児期の家族関係と心理臨床	乳幼児とその家族への心理的援助に関する基本的な理論と臨床技法について学び、さらに最近の児童福祉施設における臨床実践と研究の動向について理解を深める。
②	2003・2004・2005	心理学特殊研究1	青木紀久代	無し	乳幼児とその家族への心理的援助に関する基本的な理論と臨床技法について学び、さらに最近の児童福祉施設における臨床実践と研究の動向について理解を深める。
②	2006	心理学特殊研究1 (家族心理学特論1)	青木紀久代	家族援助のための統合的アプローチ	家族への心理臨床的援助に関する基本的な理論と臨床技法について学び、さらに最近の児童福祉施設における臨床実践と研究の動向について理解を深める。
②	2007・2008	心理学特殊研究1 (家族心理学特論1)	青木紀久代	無し	家族への心理臨床的援助に関する基本的な理論と臨床技法について学び、さらに最近の児童福祉施設における臨床実践と研究の動向について理解を深める。
②	2009・2010・2011・2012・2013・2014・2015・2016・2017	家族心理学特論	青木紀久代	無し	家族への心理臨床的援助に関する基本的な理論と臨床技法について、文献の購読と討議を中心に学ぶ。日本における様々な児童福祉施設における子供と家族の関係性援助に、これらの理論がどのように貢献できるかについて、発展的に検討していきます。
②	2001・2002・2003	心理学特別研究2	山本政人	心理学研究法の検討	比較的新しい発達心理学の研究論文を講読し、研究動向を知ると同時に、そこで用いられている研究方法と実践的意義について検討する。
②	2008	心理学特別研究6 (発達心理学特論2)	黒川由紀子	高齢者の心理臨床	高齢者の心理臨床について、個人心理療法、グループ心理療法を中心に、事例やワークを交えて学ぶ。認知症の高齢者やその家族の心理と心理支援の方法を概観する。
②	2009・2010・2011・2013・2015	老年心理学特論	黒川由紀子	無し	老年期の心理臨床に関わる事柄について学ぶ。回想法に関する理論と実践について、ビデオやワークを交えて学ぶ。
②	2017	老年心理学特論	越部裕子	初期認知症の理解を中心に	認知症の理解、特に初期の認知症に対する神経心理学的評価の適切な実施と解釈を可能とすることを目標とする。
②	2008	心理学特殊研究5 (心理療法特論2)	高田治	児童福祉施設における心理的援助	児童福祉施設の心理援助を通して、現場で役立つ心理職となるための要件を考えることを目的とする。
②	2009・2010	心理療法特論6	高田治	児童福祉施設における心理的援助	児童福祉施設の心理援助を通して、現場で役立つ心理職となるための要件を考えることを目的とする。
②	2012	福祉心理臨床特論	高田治	児童福祉施設における心理的援助	児童福祉施設の心理援助を通して、現場で役立つ心理職となるための要件を考えることを目的とする。
②	2014	福祉心理臨床特論	高田治	無し	児童福祉施設の心理援助を通して、現場で役立つ心理職となるための要件を考えることを目的とする。
②	2016	福祉心理臨床特論 臨床心理学特別研究4	内海新祐	無し	児童福祉施設(特に社会的養護)における心理臨床活動の概要を理解することを目的とする。この領域の歴史や現状と課題、必要な視点や技能についての理解を深めるだけでなく、医療領域や教育領域等との比較を通じて、「心理療法とは何か」「何が人を支え、成長させる要因となるのか」といった普遍的なテーマについての考察を深める。
②③のいずれか一科目として読み替え	2009	障害児心理学特論	滝川一廣	無し	発達障害に対する臨床的な理解を得る。
②③のいずれか一科目として読み替え	2010	障害児心理学特論	滝川一廣	発達の視点から発達障害をとらえる	発達障害を個体のもつ脳障害に還元して捉えるのではなく、人が社会的な認識や関係を育んでゆく精神発達のプロセスを視野において、そのプロセスの遅れや躓きの現象として発達障害をとらえてゆくことをしたい。
②③のいずれか一科目として読み替え	2012・2016	障害児心理学特論	滝川一廣	発達障害を精神発達の視野の中で理解する	臨床心理学的な理解と支援は大きな課題であり、そのために必要な基礎的な知識と考え方を講じる。発達障害の理解と支援のためには、精神発達とはどういうもので、それがどのような仕組みで、どんなプロセスで進むものかをよく知っていることが欠かせないのでそこに主眼をおく。
②③のいずれか一科目として読み替え	2014	障害児心理学特論	小川恵	無し	臨床心理学的な理解と支援は大きな課題であり、そのために必要な基礎的な知識と考え方を講じる。発達障害の理解と支援のためには、精神発達とはどういうもので、それがどのような仕組みで、どんなプロセスで進むものかをよく知っていることが欠かせないのでそこに主眼をおく。
②③のいずれか一科目として読み替え	1999・2000・2001・2002	心理学特殊研究3	佐々木正伸	加齢の心理学	成人期での年齢の増加に伴う心理機能の変化を調べる。始めに種々の記憶の加齢変化の問題を取り上げ、その分野の適切な文献を選んで講読する。続いて、中高齢者に対する心理的援助に関する研究の方法上の問題を取り上げる。
②③のいずれか一科目として読み替え	2008	心理学特殊研究8 (認知心理学特論2)	針生悦子	ことばの発達心理学	ヒトは言語をどのように獲得するのか、またそのことによって何がもたらされるのかについて、認知心理学、発達心理学の知見をもとに論じる。
②③のいずれか一科目として読み替え	2000	心理学演習2	齋賀久敬	認知発達の諸問題	知覚・学習・記憶・思考など、いわゆる認知機能の発達の発達変化に関する諸問題について、文献による検討を行う。
②③のいずれか一科目として読み替え	1999	心理学特別研究2	山本政人	発達研究の理論と方法	乳幼児の発達に関する文献を読み、発達理論と研究方法について検討する。
②③のいずれか一科目として読み替え	2000	心理学特別研究2	山本政人	発達心理学の動向	比較的新しい発達心理学の研究論文を講読し、研究動向を知ると同時に研究方法を検討する。
②③のいずれか一科目として読み替え	2004・2005	心理学特別研究2	山本政人	発達障害への心理学的アプローチ	比較的新しい発達心理学の研究論文を講読し、研究動向を知ると同時に、そこで用いられている研究方法と実践的意義について検討する。

公認心理師科目 対応番号	開講年度	科目名	担当教員	副題	内容
②③のいずれか一科目 として読み替え	2006	心理学特別研究2 (発達心理学特論1)	浜谷直人	発達臨床支援の実践と理論	保育園・幼稚園・学校での発達障害児・虐待を受けた子どもへの発達臨床支援の実際の状況に関心をもち、支援に関する実践と理論の基礎的な力量を形成することを目的とする。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2007	心理学特別研究2 (発達心理学特論1)	山本政人	発達障害への心理学的アプローチ	比較的新しい発達心理学の研究論文を講読し、研究動向を知ると同時に、そこで用いられている研究方法と実践的意義について検討する。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2008	心理学特別研究2 (発達心理学特論1)	山本政人	発達心理学研究の諸問題	比較的新しい発達心理学の研究論文を講読し、研究動向を知ると同時に、そこで用いられている研究方法と実践的意義について検討する。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2009	発達心理学特論1	山本政人	発達心理学の研究と課題	発達心理学の研究動向を知るとともに、発達研究の課題を探る。また発達研究に求められる研究倫理について学ぶ。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2010	発達心理学特論1	山本政人	無し	発達心理学の研究動向を知るとともに、発達研究の課題を探る。また発達研究に求められる研究倫理について学ぶ。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2011・2012・2013	発達心理学特論1	山本政人	発達心理学の課題	発達心理学の研究動向を知るとともに、発達研究の課題を探る。また発達研究に求められる研究倫理について学ぶ。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2014・2015・2016	発達心理学特論1	山本政人	現代発達心理学の動向	発達心理学の研究動向を知るとともに、発達研究の課題を探る。また発達研究に求められる研究倫理について学ぶ。
②③のいずれか一科目 として読み替え	2017	発達心理学特論1	山本政人	発達研究の動向と課題	発達心理学の研究動向を知るとともに、発達研究の課題を探る。また発達研究に求められる研究倫理について学ぶ。
③	2003	心理学特殊研究3	鎌原雅彦	無し	達成動機づけ及び動機づけの低下としての抑うつに関する近年の論文を輪読し、この領域での最新の知見、動向を知る。
③	2008	心理学特殊研究7 (心理療法特論1)	鶴養啓子	学校臨床心理学	学校教育の特徴と学校教育相談について理解し、スクールカウンセラーの歴史について学ぶとともに、コミュニティ援助としてのスクールカウンセリングについて実践事例研究を材料として研究する。
③	2009	心理療法特論4	鶴養啓子	学校臨床心理学	学校教育の特徴と学校教育相談について理解し、スクールカウンセラーの歴史について学ぶとともに、コミュニティ援助としてのスクールカウンセリングについて実践事例研究を材料として研究する。
③	2010	心理療法特論5	鶴養啓子	学校臨床心理学	学校教育の特徴と学校教育相談について理解し、スクールカウンセラーの歴史について学ぶとともに、コミュニティ援助としてのスクールカウンセリングについて実践事例研究を材料として研究する。
③	2011・2013	学校心理臨床特論	鶴養啓子	学校臨床心理士としての基礎科目	学校教育の特徴と学校教育相談について理解し、スクールカウンセラーの歴史について学ぶとともに、コミュニティ援助としてのスクールカウンセリングについて実践事例研究を材料として研究する。
③	2015・2017	学校心理臨床特論	伊藤亜矢子	無し	学校現場を理解し、学校という場を生かした心理臨床実践について具体的に学ぶ。
③	1999・2002	心理学特別研究5	竹綱誠一郎	教育心理学の諸問題	教育心理学の最新の英文論文を輪読することを通して、教育心理学研究の最新の動向を把握すると同時に、論文を批判的に読むことによってそれぞれの研究の問題点にも気づいてほしい。
③	2001	心理学特別研究5	竹綱誠一郎	教育心理学研究の動向と問題	Journal of Educational PsychologyおよびBritish Journal of Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ることと同時に、それぞれの研究の問題点にも気づいてほしい。
③	2003	心理学特別研究5	竹綱誠一郎	学校場面における教師と児童・生徒のストレスに関する研究	最新の英文論文の中から教師ストレスと児童・生徒ストレスを取り扱ったものを中心に輪読する。
③	2004	心理学特別研究5	竹綱誠一郎	学校場面における教師と児童・生徒のストレスに関する研究	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2005	心理学特別研究5	竹綱誠一郎	教育心理学研究の諸問題	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2006	心理学特別研究5 (心理学研究法特論1)	竹綱誠一郎	教育心理学研究の諸問題	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2001・2002・2003・ 2005	心理学演習3	篠田彰	行動の比較心理学的研究	動物(ヒトを含む)の行動を心理学的観点から考察している文献を選び、それらを講読することにより、比較心理学、特に学習、動機づけ、情動の分野で重要視されている問題、理論、研究法についての理解を深める。
③	2006	心理学演習3 (学習心理学特論1)	篠田彰	行動の比較心理学的研究	動物(ヒトを含む)の行動を心理学的観点から考察している論文を選び、それらを講読することにより、比較心理学、特に学習、動機づけ、情動の分野で重要視されている問題、理論、研究法について理解を深める。
③	2007・2008	心理学演習3 (教育心理学特論1)	竹綱誠一郎	教育心理学研究の諸問題	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2009・2015・2017	教育心理学特論1	竹綱誠一郎	教育心理学の諸問題	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2010	教育心理学特論1	上淵寿	研究法・感情・動機づけの心理学	心理学研究に必要な研究法あるいは感情および動機づけの考え方について、知識を得て、それを実際の研究に使えることを目的とします。
③	2011・2012・2013・ 2014	教育心理学特論1	竹綱誠一郎	無し	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2016	教育心理学特論1	鎌原雅彦	教育心理学の諸問題	Journal of Educational Psychology に掲載された最新論文を講読する。教育心理学研究の最新の研究動向を知ること、教育心理学研究の方法とデータ解析の知識を得ること、および参加者同士の議論を通してそれぞれの内容についての理解を深める。
③	2015	社会心理学特論2	伊藤忠弘	動機づけの科学	Advances in Motivation Scienceの輪読を行う。
③	2016・2017	社会心理学特論2	伊藤忠弘	動機づけの科学	動機づけの心理学研究の理論を学ぶ。
③	2001	心理学演習2A	箕浦康子	文化のなかでの人間の発達	子どもは、育ちの場に充満している文化的意味を、周りの人や事物との相互交渉を重ねるうちに、自己流に内に取り込み、文化の衣(意味空間)をまとっていく。本講義ではマクロな社会・文化体系である家族や教育制度などがどのようなメカニズムで子どもを文化的存在に変容させるかを扱った研究論文を講読することで、文化と人間発達の交点を探る。また、文化心理学の主要な研究方法であるフィールドワークについても触れたい。
③	2001	心理学演習2B	鎌原雅彦	動機づけと抑鬱の諸問題	動機づけ及び抑うつに関する近年の実証的研究論文を輪読し、研究動向についての理解を深め研究方法について検討する。
③	2002	心理学特別研究7	鎌原雅彦	動機づけと抑鬱の諸問題	達成動機づけ及び動機づけの低下としての抑うつに関する近年の論文を輪読し、この領域での最新の知見、動向を知る。
③	2004	心理学特別研究7	鎌原雅彦	無し	達成動機づけ及び動機づけの低下としての抑うつに関する近年の論文を輪読し、この領域での最新の知見、動向を知る。
③	2016	認知心理学特論1	今井久登	基礎研究の知見を臨床に活かす道を探る	心理療法と認知神経科学の融合を目指すTryon, W.W. (2014). Cognitive Neuroscience and Psychotherapy: Network Principles for a Unified Theory. Academic Press.をテキストとして、認知神経科学の発達過程に関する知見(言語獲得過程、チョムスキーの理論、ピアジェの構成主義、ニューラルネットワークのモデル等)を把握し心理療法や臨床実践に役立てることを目的とする。
④	2008	心理学特殊研究3 (社会心理学特論2)	越智啓太	犯罪者行動の心理学	犯罪が生じてから犯人を捕まえるまでの過程、いわゆる捜査過程、に心理的な知識を用いる研究について主に扱う。特に、犯罪者の行動パターンについての研究と、行動パターンからの犯人の割り出し、動機の割り出しなどに関する比較的新しい研究を紹介する。

公認心理師科目 対応番号	開講年度	科目名	担当教員	副題	内容
④	2006	心理学特殊研究8 (認知心理学特論2)	越智啓太	犯罪捜査の心理学	捜査心理学についてその概要から最新の研究成果までを紹介する。捜査心理学とは、犯罪捜査つまり犯罪現場を調査し、犯人を発見し証拠を収集して起訴するまでの過程における心理学知識の応用について研究する分野である。
⑤	2000	心理学演習4	永田良昭	社会行動研究の方法	個人と社会の関係をいかにとらえるかという視点から、社会行動に関して一般性をもつ仮説、理論を如何に構成し、検証するかを科学的考察を踏まえて検討する。
⑥	2001	臨床心理査定演習	相馬壽明 川崎克哲	心理アセスメントの実践課題と諸問題	心理査定の理論と実際について基本的事項を学び、実習によって心理査定の方法を修得しながら、心理査定の臨床的アプローチについて理解を深める。
⑥	2002	臨床心理査定演習	吉川眞理	心理アセスメントの実践課題と諸問題	心理査定の理論と実際について基本的事項を学び、実習によって心理査定の方法を修得しながら、心理査定の臨床的アプローチについて理解を深める。
⑥	2003・2004・2005・ 2006・2007・2011	臨床心理査定演習	吉川眞理	無し	心理査定の理論と実際について基本的事項を学び、実習によって心理査定の方法を修得しながら、心理査定の臨床的アプローチについて理解を深める。
⑥	2008	臨床心理査定演習	佐々木裕子	心理検査法によるアセスメント実践	臨床判断のための補助用具として用いられる代表的な心理検査法について、その実践的な活用の仕方を学ぶとともに、各自が解釈レポートを作成することで心理検査解釈の実際を体験する。
⑥	2009	臨床心理査定演習	吉川眞理	心理アセスメントの体験的習得	心理査定の理論と実際について基本的事項を学び、実習によって心理査定の方法を修得しながら、心理査定の臨床的アプローチについて理解を深める。
⑥	2010	臨床心理査定演習	吉川眞理	臨床心理職技能としての査定習得	心理査定の理論と実際について基本的事項を学び、実習によって心理査定の方法を修得しながら、心理査定の臨床的アプローチについて理解を深める。
⑥	2012・2013・2015・ 2016	臨床心理査定演習	吉川眞理	心理査定バッテリーの所見作成	心理査定の理論と実際について基本的事項を学び、実習によって心理査定の方法を修得しながら、心理査定の臨床的アプローチについて理解を深める。
⑥	2014・2017	臨床心理査定演習	吉川眞理	無し	臨床心理アセスメントの倫理、質問紙法、作業検査、知能検査、投影法の歴史、作成過程、施行方法、解釈法、その限界を学ぶ。後期では、心理検査バッテリーにより、演習協力者を得て、実際に心理検査を施行し、設定された目的に沿った所見を作成し、実際にフィードバックを行う。
⑥	2001	心理学特殊研究2	伊藤研一	心理臨床実践研究	心理臨床の実践上、重要と思われるアセスメント技法、援助技法について、心理検査(ウェクスラー式知能検査、ロールシャッハテスト)、およびロール・プレイング等を通じて体得することを目指す。
⑥	2002	心理学特殊研究2	伊藤研一	アセスメントとカウンセリング演習	心理臨床の実践上、重要と思われるアセスメント技法、援助技法について、心理検査(ウェクスラー式知能検査、ロールシャッハテスト)、およびロール・プレイング等を通じて体得することを目指す。
⑥	2003・2004	心理学演習2	伊藤研一	臨床心理学的アセスメント	前半は、心理検査(ウェクスラー式知能検査、ロールシャッハテスト)のデータをもとにクライアントのパーソナリティや物事の捉え方、感じ方を理解する演習を行う。後半から、フォーカシング実習を行い、フォーカシングの基本を身につけ、その後面接場面で感情移入的に相手を理解する実習を行う。
⑦	1999・2000	心理学演習1	相馬壽明	子どもの心理療法	遊戯療法の理論と実際を中心に、子どもの内的世界とその変容過程について検討する
⑦	2005	心理学演習2	日笠摩子	クライアント中心・体験過程療法	クライアント中心療法と体験過程療法を学ぶことを目的として、論文を講読する。
⑦	2006	心理学演習2 (心理療法特論1)	川崎克哲	心理療法の実践と諸問題	基本的な流れとして、心理療法における心理的構造の変容の過程を、書技法の実習的な体験→ディスカッション→その体験に照らしながらの具体的な事例検討→ディスカッション→その理論的側面の検討→ディスカッション→今後の展望と新たなアイデアの創出、という過程を通して検討していきたい。
⑦	2007	心理学演習2 (心理療法特論1)	伊藤研一	フォーカシング指向心理療法の実習	心理療法技法を実習し、その過程と効果について実際に経験し、考える。
⑦	2009・2010	心理療法特論1	伊藤良子	全体的存在として人間を理解する	事例をもとに、人間存在のさまざまなあり方について、心理化・身体化・行動化・象徴化の観点から考える。
⑦	2001・2002	心理学特殊研究5	織田尚生	心理療法特論	分析心理学と精神分析とに共通する力動的な心理療法について、主として無意識的なものの布置という視点から検討を加える。
⑦	2003	心理学特殊研究5	織田尚生	心理療法特論	分析心理学と精神分析とに共通する力動的な心理療法について、主として無意識的なものの布置という視点から検討を加える。
⑦	2004・2005	心理学特殊研究5	織田尚生	心理療法特論	分析心理学と精神分析とに共通する力動的な心理療法について、主として無意識的なものの布置という視点から検討を加える。
⑦	2006	心理学特殊研究5 (心理療法特論2)	織田尚生	心理療法特論	分析心理学と精神分析とに共通する力動的な心理療法について、主として無意識的なものの布置という視点から検討を加える。
⑦	2007	心理学特殊研究5 (心理療法特論2)	織田尚生	無し	分析心理学と精神分析とに共通する力動的な心理療法について、主として無意識的なものの布置という視点から検討を加える。
⑦	2009・2010	心理療法特論2	伊藤良子	全体的存在として人間を理解する	IIに引き続き、行動化について講義し、最後に心理療法過程に生じる象徴化の重要性について事例をもとに論じる。
⑦	1999・2000	心理学特殊研究2	川崎克哲	心理療法の諸問題	心理療法の過程の中で生じる諸問題を事例や理論を通して探求していく。
⑦	2003・2004	心理学特殊研究2	小坂和子	心理療法と個性化	いわゆる「構造化された心理療法」の理論とその実際とを、臨床事例から学ぶ。
⑦	2005	心理学特殊研究2	猪股剛	心理療法におけるイメージと思索	深層心理学においてイメージにできる限り広く深く出会うことを目的とする。心理臨床の実践委そくして面接場面に現れるイメージに重きを置き、一つ一つの事例を通じて魂に関わるイメージの思索を深めていきたい。
⑦	2006	心理学特殊研究2 (心理療法特論3)	猪股剛	心理療法におけるイメージと思索	深層心理学においてイメージにできる限り広く深く出会うことを目的とする。心理療法の実践に即し、また心理学の現実性に立ち戻りながら、イメージそのものの中に下りていくことをグループワーク的に目指したい。また、深層心理学のいくつかの基本的な文献の購読も行う予定である。
⑦	2007	心理学特殊研究2 (心理療法特論3)	猪股剛	イメージと思索の心理療法	深層心理学においてイメージにできる限り広く深く出会うことを目的とする。心理療法の実践に即し、また心理学の現実性に立ち戻りながら、イメージそのものの中に下りていくことをグループワーク的に目指したい。また、深層心理学のいくつかの基本的な文献の購読も行う予定である。
⑦	2008	心理学特殊研究2 (心理療法特論3)	小坂和子	構造からみた心理療法過程	力動的な精神療法、あるいは無意識の存在を前提とする深層心理学的援助における構造論を論じる。心理療法における「転移」関係、またその関係性が治療的に展開するための場としての「治療構造」の諸相を、精神分析・対象関係論・分析心理学の文脈の中で再検討する。
⑦	2009	心理療法特論3	小坂和子	無し	心理力動的視点にたつて、心理療法の理論と実践を深める。
⑦	2010	心理療法特論3	小坂和子	イメージの定位と跳躍	心理力動的視点にたつて、心理療法の理論と実践を深める。
⑦	2007	心理学特殊研究6 (心理療法特論4)	小坂和子	心理療法における「夢」の解釈	私たちの生きている、今・ここでの文脈で「夢」を解釈することを通して、分析心理学的臨床に触れることを目指したい。「夢」をめぐって、とくにフロイトからユングへの対象関係論、ユングからヒルマンへの元型心理学、あるいはレム睡眠からneuroscienceへの発展という、現代日本の臨床に直結する3つの展開を、分析心理学的視点から再考し、そのうえで、受講生それぞれの「私」に根拠をいこうような議論を深める。
⑦	2008	心理学特殊研究6 (心理療法特論4)	小坂和子	「人格障害」と心理療法	「人格障害」なるものをめぐって、古典的理論から、現代臨床までの展開を、原著に触れながら再考し、受講生それぞれの「臨床感」を構築するような議論を深めたい。
⑦	2010	心理療法特論4	藤山直樹	精神分析的なセラピーに向けて	実践と理論の体系である精神分析を学ぶことは、基本的にそれを実践することと精神分析の主体となる体験とを踏まえないとできない。そのため、そうした学びの準備になる可能性のある知識を与えることを目的とする。
⑦	2009	心理療法特論5	藤山直樹	精神分析的なセラピーへの道	実践と理論の体系である精神分析を学ぶことは、基本的にそれを実践することと精神分析の主体となる体験とを踏まえないとできない。そのため、そうした学びの準備になる可能性のある知識を与えることを目的とする。

公認心理師科目 対応番号	開講年度	科目名	担当教員	副題	内容
⑦	2012	精神分析学特論	藤山直樹	無し	実践と理論の体系である精神分析を学ぶことは、基本的にそれを実践することと精神分析の主体となる体験とを踏まえなければならない。そのため、そうした学びの準備になる可能性のある知識を与えることを目的とする。
⑦	2014・2016	精神分析学特論	藤山直樹	精神分析という営みの理解に向けて	精神分析という営みがどのようなものであるのか、他の臨床実践とどのように違い、どのように同じなのかということを示す。
	2016	臨床心理学演習2		無し	
⑦	2001・2002	臨床心理面接特論	川崎克哲	サイコセラピーの理論と実践に関する諸問題	無し
⑦	2003・2004・2006・2008・2009・2010・2011・2013・2014・2015・2016・2017	臨床心理面接特論	川崎克哲	無し	心理療法における言語・イメージ、治療者とクライアントの関係性の機能、効果、構造に関して、実践面および理論面から探求していく。
⑦	2005	臨床心理面接特論	鶴養啓子	無し	心理臨床における面接のすすめ方について、インテークから終結までの流れを理解するとともに、さまざまな臨床心理面接について、その特徴と留意点を理解する。
⑦	2007	臨床心理面接特論	川崎克哲	心理療法の諸問題	心理療法における言語・イメージ、治療者とクライアントの関係性の機能、効果、構造に関して、実践面および理論面から探求していく。
⑦	2012	臨床心理面接特論	伊藤研一	無し	臨床心理面接を経験し、その経験についてフォーカシングを行うことによって知的理解と情緒的経験を統合する。
⑦	2011・2013	力動的心理学論	小坂和子	日常性の断層としてのイメージ界	心理力動的視点にたちながら、フロイト派・ユング派・現代対象関係論の各学派が示す心理療法の理論について理解を深めつつ、今日の心理面セルの実際問題に架橋させていく。
⑦	2012	力動的心理学論	小坂和子	精神分析と分析心理学の接点	心理力動的視点にたつて、心理療法の理論と実践を深める。
⑦	2014	力動的心理学論	小坂和子	臨床における文化感覚	心理力動的視点にたつて、心理療法の理論と実践を深める。
⑦	2015・2016・2017	力動的心理学論	田中健夫	無し	力動的心理学の基礎となる精神分析の人格論・発達論および治療機序について、主に対象関係論に焦点をあてて解説していきたい。心理療法の多くの学派は、精神分析の知見を拡大・深化・批判しながら成立してきており、その出発点であるフロイトをはじめとする精神分析の考え方を理解することは重要である。
⑦	2013・2014	来談者中心療法論	伊藤研一	無し	来談者中心療法およびフォーカシング指向心理療法の理論と実際について知見を深める。
⑦	2015・2016・2017	来談者中心療法論	沢崎俊之	無し	来談者中心療法の基本を学び、他の療法との比較によってその特質の理解を深める。さらに人間性心理学の発展としてのアサーションにも触れる。
	2015・2017	臨床心理学演習3		来談者中心療法論	
⑦	2013・2014	心理療法技法論	伊藤研一	無し	施行カウンセリングを経験し、その経験についてフォーカシングを行うことによって知的理解と情緒的経験を統合する。
⑦	2015・2016・2017	心理療法技法論	伊藤研一	無し	心理療法技法の理論と実際について知見を深める。
⑦	2000	心理学特別研究2	伊藤研一	フォーカシング指向心理療法	ジェンドリンの提唱した体験過程概念とフォーカシング志向心理療法について学ぶ。さらに体験過程概念とその心理療法以外の援助技法の統合について検討する。
⑦	2015・2017	臨床心理学演習4	田中康裕	無し	事例提供者が主観的な読みを提示し、参加者とともに質疑応答やディスカッションを通じて心理臨床事例に関して理解を深めていく。同時にセラピストとしてあるべき態度、関わり方等に関しても、各自の実践事例と関連付けながら、体得していく。
⑦	2016	臨床心理学特別研究1	金吉晴	無し	心的トラウマならびにPTSD、複雑性悲嘆といった状態の概念、評価、病状形成と回復について、様々な立場を踏まえて紹介するとともに、現代の標準的な理解を解説する。また持続エクスポージャー療法の紹介を通じて、トラウマからの回復過程を呈示し、回復概念についても紹介する。
⑦	2015・2016・2017	臨床心理学特別研究3	田中健夫	無し	力動的な視点にたつた心理面接およびプレイセラピーについて、事例の理解と介入について具体的に検討する。精神分析の、中でも対象関係論を軸にした事例検討を行う。言葉から離れないことやセラピストの内的対話の重視を含め、技法がもつ意味についても理解を深めていきたい。
⑧	2005	心理学特殊研究3	宮田加久子	インターネットの社会心理学	インターネットでのコミュニケーションの性質を考えた上で、インターネットを通じた社会ネットワークの維持や形成、協力を促進することを通じての社会的ジレンマの解決、そしてエンパワメントについて、社会関係資本の理論を用いて解説し、メディアリテラシーの育成を目指す。
⑧	2007	心理学特殊研究3 (社会心理学特論2)	宮田加久子	無し	インターネットでのコミュニケーションの性質を考えた上で、インターネットを通じた社会ネットワークの維持や形成、協力を促進することを通じての社会的ジレンマの解決、そしてエンパワメントについて、社会関係資本の理論を用いて解説し、メディアリテラシーの育成を目指す。
⑧	2006	心理学特殊研究6 (発達心理学特論2)	繁多進	アタッチメントの理論と実際	アタッチメント理論およびアタッチメントに関する研究成果について理解を深めるとともに、アタッチメントの発達に問題がある場合の心理臨床についても考える。
⑧	2006	心理学特別研究7 (心理学研究法特論2)	安藤清志	「喪失」とトラウマ後の成長	トラウマ後の成長を扱った内外の様々な研究を概観しながら、「個人と社会」のかんけいについて考える。
⑧	2007	心理学特別研究7 (心理学研究法特論2)	安藤清志	「残虐性」の社会心理学	同調、服従、道徳離脱、罪悪感、社会的カテゴリー化、コミットメント、認知的不協和など、おもとして社会心理学の観点からこの問題を考察する。
⑩	2001-2017	臨床心理実習		ケーススタディ及びスーパーヴィジョン	①インテーク面接、心理査定の実習に基づく報告とそのスーパーヴィジョンおよびケースカンファレンスにおける検討。②個別のケースを担当し、その臨床経験に基づく報告とスーパーヴィジョンおよびケースカンファレンスにおける検討。

※ 心理学特別研究は、博士前期課程の学生が履修する場合、「心理学特殊研究」の単位となる。